



令和7年
(2025年)
10月号
Vol.70

もちのき



(社会福祉法人愛の森広報紙)

[発行]社会福祉法人愛の森(厚木市森の里青山 14-2(Tel:046(248)5211)) [編集発行責任者] 國分 隆之

悩めるAI

- 🤖 何やねん、このタイトル？
- 😊 落語の演目。桂文珍さんがやってた。落語で、町内の物知りのところに色々聞きに行くパターン。あるじゃん。AIが相談に乗るんじゃないで、相談にくるのよ！
- 🤖 随分、間抜けなAIやね。落語家に相談に行くなんて。
- 😊 新作落語って、AIまで採り入れちゃうんだ、すごいなあって。「新作」って古典落語と違ってあまり馴染みがないんだけど、この話は、聞いて、笑って、感心した(^_^)
- 🤖 採り入れたっていうより、ネタにしたってことやね！で、感心したってのは、何に？
- 😊 福祉業界も人手不足で、ICTやらAIやら、色々言われてて…。実際先進施設ではICTとかは結構採り入れているようで…。うちは小さい施設なんで今んとこいいかなあ、とか思いつつ、日々、思い巡らせてはいるのよ…。文珍さん、すごいなあ、AI採り入れちゃって！
- 🤖 採り入れたんじゃないで、ネタやろ！それにしても、あんたも悩むことあるんやね？
- 😊 創設者・濱田名誉理事長から引き継いだ大切な学園の運営。日々悩んでます、一応！

文珍師匠に敬意を表して関西弁にしてみたのですが、とってつけたような感じで恐縮。四十年前はもう少しでした。

- 😊 それはそうと今月は、名誉理事長時代から続く愛の森学園一番のビッグイベント、「第36回森のカーニバル」。コロナ時代と違い完全オープン！皆さん、どうぞご来場を！
利用者さん・職員も色々準備してお待ちしています。ゲストは、いつも親しみやすい音曲で利用者さんを楽しませてくださる「オカリナゲンセキ」さん、そして、去年に引き続き、都内から「パフォーマーAi」さんが来てくださいます。
- 🤖 オカリナゲンセキさんは、学園のイベントに欠かせない楽しみな定番になっとるようやね！
で、もうお一人の「Aiさん」ってのは、AIかい？
- 😊 人間に決まってるでしょうが！「エーアイ」じゃなくて、「アイ」さん。
- 🤖 お後がよろしいようで！ (國分 隆之)

お車でいらっしゃる方は、(福)愛の森学園の手前(森の里三丁目交差点北側)の「マークラインズ様」の駐車場を当日お借りしておりますので、ご利用ください。その他、お問合せは、「☎ 046(248)5211:愛の森学園」まで

第36回 愛の森学園

森のカーニバル



開催日 10月18日(土) 13:30~15:30
※少雨決行・荒天中止

<p>【有料模擬】</p> <ul style="list-style-type: none"> やしそば シフォンケーキ 手作りパン 	<p>【無料模擬】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豚汁 フルーツ 	<p>【ステージイベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> Performer Ai パフォーマンスショー オカリナ演奏
--	--	--

クレープ



フライドポテト



チョコス



介護ネイル



マニキュア



花火もあるよ!!

【花火大会】

17:30~18:30



[芸術の秋、スポーツの秋] 秋に相応しいイベントを2題!

～「秋」といえば、「芸術」、「スポーツ」などが充実する季節。今年の9月は、まだまだ「暑い秋」でしたが、(福)愛の森の利用者さんならではの楽しいイベントを2題ご報告!

[画展] 愛の森の誇る「兄弟画伯」が所属するアトリエ、最後の展覧会：9月26日(金)

愛の森には、絵を描くのがお好きな、そしてお上手な兄弟がいらっしゃいます。お兄様は学園で、弟さんはグループホームで生活されています。私たちは「画伯」とお呼びすることもあるレベルです!

ご兄弟は30年ほど前から横須賀でのアトリエ活動に参画され、2年に1度ほどのペースで県内にて開催する展覧会に数々の名作を出品されてきました。ご兄弟とアトリエ仲間たちが、先生のご指導を受けつつ、それぞれの個性・タッチ・色彩で表現した様々なテーマの作品が飾られるこの展覧会は、ご家族・関係者は勿論、多くの方が鑑賞にいらっしゃるイベントです。

今回の会期は、9月26日(金)～30日(火)の5日間。初日に、職員とともに会場入りしたご兄弟は、先ずはご自身の描かれた絵の展示ぶりなどをご確認!そして、アトリエのお仲間の絵画をゆっくりとご鑑賞。「これは〇〇さんの絵」などと、同行した職員にも仲間のご様子などを教えてくださいました。

このアトリエ活動は、今回の12回目の展覧会をもって、27年間の活動に一旦区切りをつけるとのことですが、ご兄弟は、先生のご指導による長きにわたる創作活動を振り返ったり、お気に入りの作品を改めてじっくり鑑賞されたり、と、先生や仲間たちと談笑しながらのひとときとなりました。

絵を描くことを「楽しみ」「喜び」「生きがい」とし、そして鑑賞する我々役職員(ご兄弟の作品はさりげなく学園内にも飾られていたりします)にも幸せを与えてくださったご兄弟の活動はご家族の大きな支えのもとに続けられてきたと伺っています。彼らの創作活動について、引き続き、何らかの形で支援を続けていければ、と考えています。



[瓢箪からボウリング(笑)] 第1回花田杯GHボウリング大会：9月15日(月祝)

きっかけは、GHにお住いの某女性利用者さんと支援計画のご相談をしているとき、「ボウリングに行きたい!」とのお話があったことでした。「ならば皆でやればより楽しいはず!」と担当が閃き!、3つのGHの利用者さんに声をかけ、急遽ボウリング大会を実施することに!

当日、お昼を食べエネルギーを充填した利用者さん10名、役職員4名の計14名が、学園のマイクロバスにて伊勢原ボウリング場🏹に乗り込みます。某世話人が「ボウリング大会 花田カップ!」と即席で銘打った大会は、4レーン・4チームに分かれて、いざスタート!

【次ページに続く】

過去に経験された方、余り経験はないけどオリジナルの投法を即席で編み出す方、等々、皆さん「それなりの」或いは「個性溢れる」投球フォームをご披露くださいました。ストライクをとって仲間とハイタッチされる方、一投目は端に寄ってしまいましたが二投目の素晴らしい投球でスペアをとられる方、「ナイスコース」と思ったらレーンに脚を踏み入れてしまった方🤔、などなど、名プレイと迷プレイが混在する、楽しい大会となりました。

2ゲーム完投による快い汗をかいたあとの帰りのバス内では表彰式。上位スコア3名の利用者さんの発表後は、「もう一つのハイスコア賞！（遠慮してピンを余り倒さなかった方(〜♪)」その他「各種の特別賞」を利用者さんがもれなく受賞し、商品のクオカード等を受け取っていただきました。

最後にこの大会が「第1回」であることを一同で確認し、第2回に向けて皆さん自主トレに励むことを誓いあって(嘘です(笑))、この日のお楽しみを終了。

「新機軸の!？」支援計画成功に達成感を感じさせていただいた担当でした。



[実習！] 今月はYMCA健康福祉専門学校から2名のご来園！：9月1日(月)～10日(水)

厚木市内に所在し、卒業生も在籍しているYMCA健康福祉専門学校様。学園とは長いおつきあいのなか、今年も実習生2名が8日間に渡る実習に来てくださいました。実習終了時に、ご感想などをいただきました。(編注:実習担当職員が承ったコメントを、ご趣旨を違えないと考える範囲で、編集させていただいています。)

😊 アットホームな雰囲気の中かで支援・介助が行われているのを感じました。実習前は皆さん介助が必要で、また、他害なども多いのかなと思っていましたが、利用者さんの意思、ご希望などを出来る限り受け止めて支援を行っている様子を拝見・体験し、施設に対するイメージが大きく変わりました。利用者さんごとに作業や課題が考えられていることも感動しました。実習に来てよかったと思います。



😊 ナーバスになることなく実習に入ることができ、とても楽しませていただきました。学校で習ってきた「介護・介助」のみならず、利用者さんの意思を尊重し可能性を奪わない「支援」の概念と在り方を教えていただき、体験できました。また、日課や作業のための物品や設備は、完成されたものを買って使っていると思っていましたが、実際には利用者さんの状況にあわせて手作りされている、というお話を伺い、利用者さん一人ひとりを大切に思う気持ちも感じる事ができました。



[旅行] 埼玉まで脚を伸ばし、お醤油のテーマパークを見学しました！：9月18日(木)

今年度4組目の旅行は、埼玉県中央部まで脚を伸ばし、「金笛(きんぶえ)しょうゆパーク」に行っていました。江戸時代創業の地元メーカーさんが、しょうゆ蔵にレストランやミュージアム・直売所を併設し、工場見学やしょうゆ造りをも学べるという体験型複合施設です。

一行はパーク内を一通り回って散策したあと、お昼ご飯。名物の木桶うどんをいただきました。風情のある木の桶に入ったうどんは、それなりのボリュームでしたが、一寸遠距離でおなか減っていたのか、醤油の出汁がお口にあったのか、つるつると5分で食べ終わってしまう強者の男性利用者さんも！食後はこれまた名物の「しょうゆソフト」をいただき、「しょうゆ三昧」！

帰りは、今年の3月にオープンしたばかりの道の駅「べに花の郷おけがわ」にて「お土産購入」と「おやつ」を楽しんで、学園に戻りました。雨予報でしたが、皆さんの日頃の行いが良かったこともあり😊、雨に濡れることなく、行程を終えることができました。



[死生観を学ぶ・考える] 高齢・多死社会を迎え、切り口の違う研修会を…：9月25日(木)

9月の園内研修は、日々の学園業務に直接接点がある題材からは離れ、一方で公私ともに誰にとっても重要な「死生観」をテーマに、畑武子理事、森繁樹監事の両役員からお話を伺いました。「死生観」。聞くことのある言葉ではありますが、なかなか難しい言葉でもあります。生と死に対する個人の考え方や価値観の総体といったところでしょうか。

学園も設立から40年近くが経過し、ベテランの役職員が入職したころには20歳代だった利用者さんも、気付けば「アラ還」となっておられる今日。職員の平均年齢もともに上がっていきながら、人間であれば誰も訪れる最後の旅立ちを念頭に、今、どのように生きていくか、そしていずれは訪れる旅立ちをどう受け止め、準備をしておくか…。誰にも関心は高いテーマです。

恐らく「正解」があるわけではないであろうこのテーマについて、二人の講師がそれぞれのご経験・お考え等を踏まえ、参加者それぞれが自分なりにこのテーマを考えるきっかけを与えてくださるような、「心」「気持ち」に深く響く内容のお話をいただきました。

死生観を含めたご意思を表すのが必ずしも簡単ではない利用者さんの生活や人生にどう寄り添うか、を考える機会でもあり、職員それぞれの「私」の視点では自らの生き方を改めて考えるきっかけにもなる、非常に貴重な機会となりました。



○ 法人設立から間もなく40年。利用者さんの高齢化や施設の老朽化等が進むなか、私たちは、障害者総合支援法等に基づき国・自治体から支払われる報酬をベースに、出来る限りの経営努力を行いつつ、利用者さんの安全で楽しい毎日のための諸取組みを積極的に行っていきたいと考えています。

○ 一方、当法人の事業にご賛同いただき、ご支援いただける方からのご厚志はありがたくお受けしています。当法人では皆様からのご厚志(寄附金)は他の事業経理と区分して管理しています。皆さまのご厚志は、利用者さんの生活をより豊かにするためのサービス提供や、中長期的な施設建設積立てなどにもみ充当され、一般的な事業経費には流用されません。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

【寄附金についてのご照会窓口：(福)愛の森総務課(Tel:046-248-5211(代表)、担当:武藤・國分)

【寄附金受入管理専門口座：ゆうちょ銀行 /記号 10950 /番号 39350301 /口座名義 ㊦アイ/刊】

